

大きな栗の木の下で

高校生が語る 暮らしやすい未来

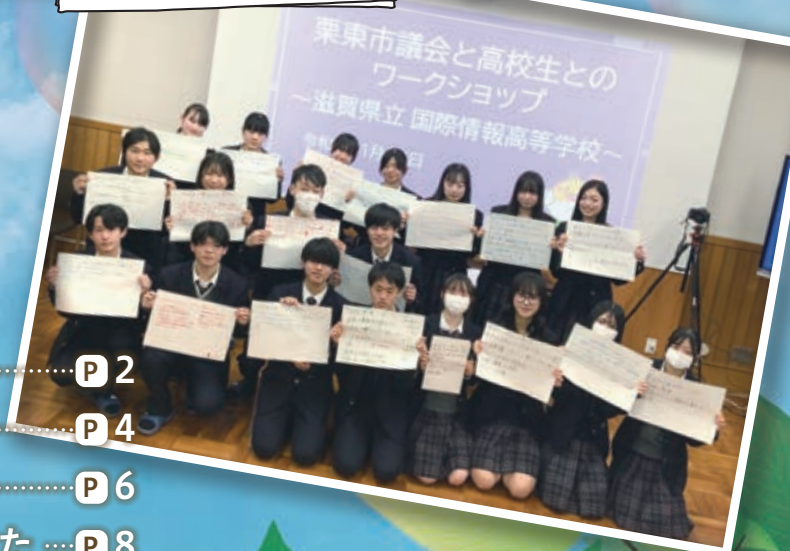
高校生たちに住み続けたい栗東市を聴く!!



栗東高校

聾話学校高等部

国際情報高校



特集 高校生の思いを聴きました P 2

議案 1月臨時会・3月定例会 P 4

委員会 各常任委員会ピックアップ P 6

代表質問 各会派が施政等について聴きました P 8

個人質問 ここが聴きたい 市政を問う P 11

聾話学校の生徒が 暮らしやすいまち

聾話学校高等部

- 補聴器をイヤホンと間違えないように、みんなに知ってもらいたい
- みんなと楽しく手話を使って会話したい
- 高齢者が増えて子どもの数が減る「少子化問題」を改善してほしい
- バス停に屋根があったらいい
- 指差しのポスターを配置して視覚によるコミュニケーションを増やしたい



▲ 高校生による指差しポスターのイメージ図



20年後の未来

栗東高校

- 健康的に生活できる環境づくり
- 20年後には全ての車が自動運転になっている
- 発言のしやすい社会になってほしい
- AIの発展で人間が最終的に不要になってしまうかも
- SNSの利用方法について、より考えていく必要がある



対話を便利にするSOUNDカード™を使用したワークショップで
若い世代の意見を聴くとともに、
議会を身近に感じていただく機会としました。

令和7年1月20日(月曜日) 聾話学校高等部(1～3年生) 14名
令和7年1月28日(火曜日) 栗東高校 美術科(1年生) 37名
令和7年1月29日(水曜日) 国際情報高校 生徒会の生徒(1・2年生) 19名

アンケート等詳細はこちらから



SCAN HERE!

の思いを
した!!



【参加者アンケート結果】

市議会の活動に興味や関心をもちましたか？

とても興味や関心をもった
ある程度興味や関心をもった }

93%

- 栗東市民の要望に応えるように、進めてくれていると感じられた
- 想像していた堅苦しいイメージではなく皆さんとても優しく明るい雰囲気でした
- しっかり高校生の話も聞いてくれる人だと思いました
- またこういう話す機会を作ってほしいです

高校生が暮らしやすい
栗東市

国際情報高校



- 公共交通の便を良くする ● 登下校の道を明るくしてほしい
- 自転車の走る所がない ● 友達と遊べる施設、公園がほしい
- 勉強できる自習スペースを作してほしい
- Wi-Fi 環境の改良 ● 高校生や大学生に対する支援が少ないと思う
- 他校、地域の人との関わりを増やしたい

高校生
聴きま



【主権者教育の一環として】

議員と対話の機会
市議の仕事の説明
パブリックコメントの紹介

【高校生たちの思いを聴いて】

今回の広聴会は、市内3校3日程での開催のため、議員を振り分けての実施となりました。聾話学校高等部の生徒たちには市役所にお越しいただき、議場見学も兼ねて90分で実施しました。栗東高校では、美術科の1年生に対し授業での実施。教室の移動時間もあることから50分の時間厳守でかなりタイトな時間設定に関わらず、生徒の皆様からはたくさんの思いを聴かせていただきました。国際情報高校は、生徒会役員と放課後に実施し、生徒会役員として、生徒たちの代表らしく、校内の意見を取りまとめているような、我々議員視点の話が多かったように思います。

先生方からも良い機会だったと感想をいただきました。＜特集担当：島田・谷口＞



1月臨時会・3月定例会

審議した議案・意見書・議提案など

* 賛否が分かれた案件は（別表）

	件 名	採択結果
人事	公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて （氏名：平井 建志 氏）	同意
	教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて （氏名：今井 義尚 氏）	同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて （氏名：浅井 剛 氏）	同意
	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて （氏名：川波 重和 氏）	適任
条例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 （懲役及び禁錮刑が廃止され代わりに拘禁刑が創設されたことに伴い関連の条例を改正）	可決
	公文書の管理に関する条例の制定について （公文書の適正な管理と保存を推進し、市民に説明する責務を全うするため）	可決
条例（一部改正）	部設置条例 （令和7年度における行政組織機構の見直しに伴う改正）	可決
	職員の給与に関する条例等 （扶養手当の改正など人事院勧告による改正等）	可決 （別表）
	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例 （子の看護休暇の拡大等、人事院規則改正に伴う改正）	可決
	税条例 （デジタル社会形成基本法等の改正に伴う改正）	可決
	国民健康保険税条例 （国民健康保険税率を改定）	可決 （別表）
	栗東墓地公園等整備基金条例 （合葬墓を整備するため栗東墓地公園等整備基金の目的に栗東墓地公園の整備を加える）	可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 （子ども・子育て支援法施行規則等の改正に伴う連携施設の経過措置年数等の改正）	可決

	件 名	採択結果
条例（一部改正）	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 （適正な都市機能・健全な都市環境を確保するため、北中小路3期地区地区整備計画区域を新たに追加）	可決
	空家等対策条例 （空家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴う管理不全空家等の定義付け等の改正）	可決
	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例 （水道法施行規則の改正に伴う改正）	可決
	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例 （消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴い、退職報償金支給額表の勤務年数に「35年以上」の区分を設ける）	可決
	消防団員等公務災害補償条例 （内閣政令の改正に伴う補償基礎額について改正）	可決
その他	第六次栗東市総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の策定につき議会の議決を求めることについて （第六次栗東市総合計画基本構想の変更および令和7～11年度を計画期間とする後期基本計画を策定）	可決
	道路線の廃止について （北の山吉田線、上砥山区内1号線）	可決
	道路線の変更について （上砥山区内古川線）	可決
	道路線の認定について （山手幹線側道1号線、山手幹線側道2号線、下鉤西浦線、上砥山南谷線、出庭立海道線、上砥山団地3号線、上砥山団地4号線、上砥山団地5号線）	可決
意見書	高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げに反対する意見書	否決 （別表）
議提案	栗東市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決

令和 6 年度 一般会計・特別会計 補正予算					
会計名	補正額		予算総額	主な内容	採決結果
一般会計（第 7 号）	1億5,811万6千円(増額)		296 億 2,272 万円	民生費の増額	可決
一般会計（第 8 号）	1億4,650万5千円(減額)		294 億 7,621 万 5 千円	土木費の減額等	可決
一般会計（第 9 号）	3億3,122万円(増額)		298 億 743 万 5 千円	教育費の増額	可決
国民健康保険（第 4 号）	72万円(増額)		54 億 8,921 万 8 千円	諸支出金の増額	可決
後期高齢者医療（第 3 号）	2,536万8千円(増額)		9 億 1,413 万 1 千円	後期高齢者医療広域 連合納付金の増額	可決
介護保険（第 5 号）	8万円(増額)		44 億 1,080 万 4 千円	基金積立金等の増額	可決
水道事業会計（第 4 号）	収入	4,711万2千円(減額)	19 億 787 万円	企業債の減額等	可決
	支出	509万6千円(減額)	23 億 1,124 万 1 千円	建設改良費の減額等	可決
公共下水道事業会計（第 3 号）	収入	1億4,527万2千円(減額)	24 億 9,154 万 5 千円	企業債等の減額	可決
	支出	1億3,492万8千円(減額)	31 億 939 万 7 千円	建設改良費の減額等	可決

特集

定例会

委員会

代表質問

個人質問

令和7年度 一般会計・特別会計 予算			
会計名	予算総額	前年度当初予算比較増減	採択結果
一般会計	310億1,900万円	22億500万円	可決(別表)
土地取得	1億1,982万9千円	-102万3千円	可決
国民健康保険	53億2,652万9千円	-1億1,319万2千円	可決(別表)
後期高齢者医療	9億2,224万5千円	3,598万8千円	可決(別表)
介護保険	44億708万円	1億6,482万7千円	可決(別表)
墓地公園	746万1千円	3千円	可決
大津湖南都市計画事業 栗東新都心土地区画整理事業	3,313万円	-3,285万7千円	可決
水道事業会計	20億5,049万円	-2億6,460万7千円	可決
公共下水道事業会計	32億2,679万8千円	-1,675万3千円	可決
農業集落排水事業	4,243万8千円	1,661万4千円	可決



令和7年度 一般会計 補正予算				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採択結果
一般会計(第1号)	3億3,122万円(減額)	306億8,778万円	教育費の減額	可決

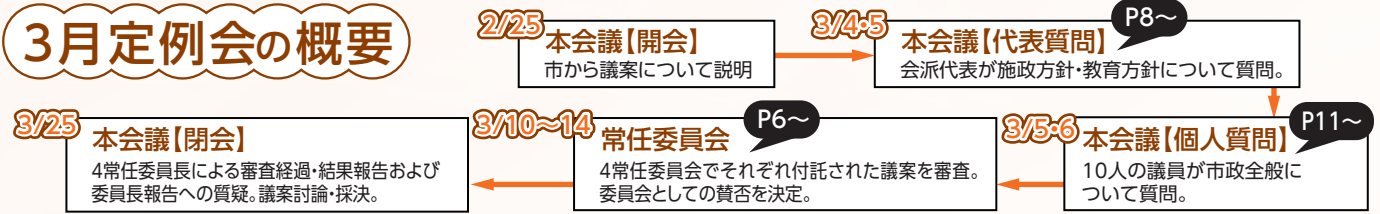
賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多 = 賛成多数、少 = 賛成少数 ○…賛成、●…反対)

案件		会派名 議員名	賛成 の数	新政会							ネットワーク			公明		共産		究理		未来
				上田 忠博	三木 敏嗣	里内 英幸	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石田 昌子	谷口 律香	川嶋 恵	塩見 隆	青木 千尋	伊吹 裕	武村 賞	櫻井 浩司	島田 利恵
予算	一般会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
	国民健康保険特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
	後期高齢者医療特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
	介護保険特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
（一部改正） 条例	職員の給与に関する条例等	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
	国民健康保険税条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
意見書	高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げに反対する意見書	少	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	

※議長(中野 光一議員)は採決に加わらない

※会派名の正式名称は次の通り ネットワーク(栗東市民ネットワーク)、公明(公明栗東)、共産(日本共産党栗東市議団)、究理(究理の会)、未来(未来創造りっとう)



傍聴にお越しく下さい

- 本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。
- 開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
 - 日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
 - 議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
 - 手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

●問い合わせ 議会事務局(市役所4階)
TEL:551-0137 FAX:551-0146
✉:gikai@city.ritto.lg.jp

議会の様子は、開催後速やかにYouTubeにアップしており、動画でもご覧いただけます。▶



5月臨時会の予定

5月30日	本会議(議長選挙等)
-------	------------

6月定例会の予定 (土・日・祝は除く)

6月12日	本会議(議案上程等)
19日~23日	本会議(個人質問)
24日・25日	各常任委員会
30日	本会議(委員長報告・採決)



※委員長報告を映像で
ご覧いただくことができます

常任委員会ピックアップ

～3月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～

特集

定例会

委員会

代表質問

個人質問

予算常任委員会

どう使われるの？令和7年度予算

◆健康運動公園の中の経堂池を市が購入！

令和7年度に健康運動公園の造成詳細設計に取り掛かる。公園の開園は令和14年の予定。
(P16にも情報を掲載)

問 健康運動公園造成詳細設計委託料等の中身は。また、経堂池の坪単価はいくらか。

答 詳細設計等の中には今まで実施した用地測量や境界測量の成果を集約する業務も含まれる。令和7年度末には詳細設計を仕上げたい。経堂池の坪単価は2万9千円を想定。

問 経堂池は旧RD最終処分場の問題で県が水質検査等を毎年2回ほど実施しているが、どうなるのか。環境調査に経堂池の水質検査は入ってこないのか。

答 県が旧RDの水質検査、地下水の関係で健康運動公園のエリア内で何地点か観測しているものは残したまま公園整備をしていきたい。現在、県がしているところは

引き続き、県にしてもらう。◆住みたい市民に住んでいただくための市営住宅の改修状況は？
(市営住宅維持補修事業)

問 以前、現状の市営住宅を改修すれば入居可能な部屋は65戸と聞いているが、令和7年度予算で何戸の改修を見込んでいるのか。

答 令和7年度予算は1650万円であり、今年の改修実績で1室約180万の経費が掛かることから、改修は9室くらいを予定している。

◆お墓の新たなあり方を考える

墓の維持管理や継承が困難な方、やむを得ず自宅にお骨を保管している方の要望に応えるため、合葬墓の整備を新たに計画。

問 合葬墓の受け入れ可能数および受け入れ対象の範囲は。

答 受け入れ可能数については、カローットのサイズから約2千体となる。また、受入対象の範囲・詳細について

は、令和7年度の栗東墓地公園管理委員会の意見を参考にしながら決定していく。

◆利用者減によるバス事業者の赤字補填に税金を投入する

マイカーの普及やコロナ禍の影響に伴う新しい生活様式の定着等により利用者数の減少が進む中、運行事業者より、事業収支の改善を見込めないことから損失補填等の要望を受け、補助をおこなう。帝産バス市内4路線の全便に対しての赤字補填となる。

問 事業者に対して事業計画の提出や事業提案を行ってもらうなどの強制力がないと、市民から納得が得られないと思うが、いかがか。

答 バス事業者に対し市民の税金を使用する以上は、赤字の縮小についての努力を求めているので、求めており、事



業計画の作成や協定についても進めようと考えている。

◆ファミリー・サポート・センター事業が本年4月からいよいよ開始！

ファミリー・サポート・センター事業とは、子育て中の方が仕事や用事などで子どもの世話が出来ない時に、地域の人が応援する、会員同士の相互援助活動。
(P16にも情報を掲載)

問 提供会員の資格要件や募集状況は。

答 要件は18歳以上で援助活動を行えること。募集は社会福祉協議会と調整し、準備を進めている。

問 預かりについて1対1に限るのか、また、預かる場所の制限は。

答 基本、1対1である。預かる場所については、自宅に加え児童館などの公共施設を利用することも可能である。

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○上石田 昌子、○上田 忠博 議長(中野 光一)を除く全員

総務常任委員会

新年度、一部組織を改編(部局室・課)

◆栗東市部設置条例の一部を改正

令和7年度、各部局の課題にスピード感を持つための確に対応・推進するため組織を改編。

問 危機管理局、市長公室を廃止、健康運動公園整備事業推進課を都市整備部に移管、上下水道所長を建設部長が兼務する経緯と理由は。

答 危機管理局はスムーズな初動体制を構築するため市民部に移管。市長公室の健康運動公園整備事業推進課は都市計画と一体的に事業を推進するため、都市整備部に移管。雨水幹線の工事を建設部長が牽引し推進するため上下水道所長と兼務とした。

問 部・課の配置場所等が変わるが市民への周知は。答 配置はできる限り部でまとめる。場所の変更は案内掲示などで周知する。

◆栗東市国民健康保険条例の改正

滋賀県において原則令和9年度に県内市町の保険

料水準の統一を決定しており、本市の国保税率を県が示す標準保険税率に合わせる必要がある。その保険料率との乖離や医療費の伸び等をふまえ税率を相応に引き上げる。

問 被保険者への周知は。答 6月に郵送する税額の決定通知で税率や税額を、また広報等を通じて引上げの背景や変更内容を周知する。

問 繰越金を令和7年度、4256万5千円活用する。以降、年次的に活用していくのか。繰越金の残見込みは。答 毎年、県提示の標準保険税率の税額等が変わる。今後、年次的にそれに応じて見直す。医療費が伸び続ける等であれば引上げを検討する。その場合、繰越金も投入し負担軽減の検討が必要。現段階で繰越金は1億から1億5千万円程度を残す試算である。



所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○上田 忠博、○上石田 昌子、川嶋 恵、寺田 靖広、島田 利恵

環境建設常任委員会

栗東墓地公園内の合葬墓整備のため基金を活用

◆栗東墓地公園等整備基金条例改正

栗東墓地公園内への合葬墓整備にあたり、基金を活用できるように条例を改正。

問 草津市と栗東市で、栗東墓地公園を整備されたが、栗東市が基金を使用して合葬墓を整備することに草津市民に不利益は生じないのか。

答 基金は、墓地公園使用者の永代使用料である。合葬墓の優先者が、栗東墓地公園使用者のため、不利益はない。

◆地区計画内における建築物の制限に関する条例改正

建築物の用途の制限ができるよう、北中小路3期地区地区計画区域を追加。

問 計画地の西側に造成地がある。地区計画に入っていないのか。答 地区計画前に、開発許可を得ていることから、計画に入っていない。

◆栗東市空家等対策条例改正

放置すれば「特定空家」等に該当するおそれのある状態の空家等を「管理不全空家」等と位置づけて所有者に指導等をおこなえるよう条例を改正。

問 特定管理不全状態の長屋および共同住宅は存在するの。答 長屋および共同住宅はない。

問 特定管理不全状態の空家と認められた場合、どのような対応となるのか。また、特定管理不全状態の空家はあるのか。答 特定空家は2件認定している。認定後は助言、指導を行う流れとなる。改善が図られない時は、勧告、命令となる。最終的に命令に従わず、危険な状態であるとなれば、行政代執行となる。



管理不全空家
窓や壁が破損しているなど、管理が不十分な状態。

特定空家
そのまま放置すると倒壊等のおそれがある状態。

▲出典:空家対策特設サイト(国土交通省)

◆市道の廃止、変更、認定

山手幹線整備事業に伴う県道川辺御園線拡幅工事に伴う道路の延伸等による変更や廃止、また開発に伴う道路認定の審査をおこないました。

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○武村 貴、○梶原 美保、田村 隆光、三木 敏嗣、里内 英幸、伊吹 裕

文教福祉常任委員会

就学前保育・教育のさらなる充実につなげます

認定こども園や小規模園、系列園同士の連携をさらに強化し、保育・教育の質を確保するための条例改正について審査しました。

問 認定こども園等との連携

については、小規模保育事業者の保育士が急遽欠員となった場合に、保育をスムーズに提供できるようにするものか。

答 連携には、保育内容の支援に関するものと代替保育の2種類がある。保育内容の支援では、小規模園がこども園等の園庭を

使わせていただくことや、小規模園では体験できない集団の中で保育を受けることなどである。また、代替保育については、小規模園で病気などにより保育士に欠員が出た場合、保育に大きく影響するため、連携により保育士を

確保することで、万が一の対応が可能になる。

問 現在の市内の連携状況は。

答 系列園がある3園では系列園同士で連携されているが、残る5園は連携に至っておらず、今後も引き続き連携園の確保に努める。

問 連携園がなく、対応に苦労しているなどの事例はあるか。

答 現状、連携園がなく困っているといった声は聞いていないが、実態として園庭の借用などの連携をされており、近隣園との協力関係は築けていると考えている。



栗東市認可小規模保育園
なないろ保育園（霊仙寺地先）

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○西田 聡、○青木 千尋、櫻井 浩司、塩見 隆、奥村 明、谷口 律香

代表質問

5会派から市長の施政方針、教育長の教育方針について質問しました。
質問と答弁の要旨をお伝えします。

○は代表者 ●は質問者

○青木千尋 ●青木千尋 伊吹 裕

日本共産党栗東市議団

- 質問事項 ①工場立地計画での白紙撤回の総括・責任。中小業者等への支援
②健康運動公園の市民への周知と意見聴取 ③市内農業の所得補償、後継者対策
④介護事業所の中止と自治体の役割 ⑤国民健康保険の県の統一 ⑥不登校児童・生徒への対応



① 市内一部大企業に対する奨励金事業を行い、誘致企業の白紙撤回が起った。責任の所在を明らかにすることと総括が必要であり、広く声を聴くことが求められている。中小事業者の支援は。

答 バル事業やプレミアム商品券事業等を消費喚起として幅広い業種を対象に中小企業振興を行う。

問 健康運動公園の市民への周知と意見聴取は。



▲ニプロ（株）撤退の広大な土地
（北中小路地先）

② 健康運動公園の市民への周知と意見聴取は。

答 栗東運動公園整備懇談会や広報、ホームページ等で取り組んでいく。農業は高齢化、資材等

の高騰で継続が危ぶまれている。対応策は。

答 令和7年度から「地域計画」に基づき、継続した支援を行っていく。

④ 介護報酬の減額で市社協の訪問介護事業所が中止になった。市の対応は。

答 市内の事業所では倒産はなく相談もない。人材確保、定着については国への要望を継続する。

⑤ 国民健康保険の「県への統一」は国保税のさなる値上げしかない。県に「拙速な統一をしないよう」働きかけを。

答 国、県で決定したことであり働きかけはしない。

⑥ 不登校児・生徒が増加している。特に「学校に行けない」児童・生徒への対応は。

答 校内教育支援センターを設置しており、専任支援員の増員や訪問相談事業を進める。

○は代表者 ●は質問者

○武村 賞 ●櫻井浩司

究 理 の 会

- 質問事項** ①火葬場の整備時期は ②合葬墓の整備
③ふるさとりっとう応援寄附金 ④健康運動公園計画 ⑤急増する職員の退職理由



▲合葬墓 (イメージ図)

答

地場産品の開拓、開発のノウハウを有する民

がどうか。

③

企業版ふるさと納税を推進され、増額傾向であるが、職員が一丸となって魅力ある返礼品の創出に努められたい

がどうか。

答

栗東墓地公園内にモニユメント形式の墓石、

献花台、記名版等を設置し、埋蔵可能数2千

体を計画している。工事は、秋頃から予定

している。

②

整備内容と今後のスケ

ジュールは。

答

現時点における全体事業

費は、令和25年3月まで

の運営費を含め、50億

5440万円、完成及び

供用開始は、令和10年3

月を予定している。

①

令和7年度に造成工事等を実施されるが、今後のスケジュールと全体工事は。

答

管理職員の退職は、個々の家庭事情やご自身の体

調面、今後の人生設計と

いった事情が背景にある。

また、若年層職員は、価

値観・労働観の多様性に

より、自身のキャリアア

ップのために敢えて退職

し、別の職を選ぶ職員が

増えたと認識している。

⑤

公務員の定年が延長され

る中、令和5年度は8名

の管理職員が定年を待た

ずして退職された。また、

若年層職員の退職も急増

している。どのように捉

えているのか。

答

都市公園の整備の目的は、

引退競争馬を活用した

単なる公園整備ではな

く、市民の方々に長く

親しまれ、誇りをもつ

てもらえる栗東にしか

できないランドマーク

的な公園整備を行う。

④

自治体が誘客施設を整備

し、適正に管理・運営

されている施設は殆ど

ない。大型公共事業の

実施にあつては、市民

の理解と納得が必要で

あると考えるがどうか。

○は代表者 ●は質問者

○川嶋 恵 ●川嶋 恵 塩見 隆

公 明 栗 東

- 質問事項** ①栗東健康運動公園におけるPark-PFI制度の調査 ②児童館利用の今後のありかた
③猛暑対策、災害時の避難所としての小中学校体育館等の空調設備
④結婚新生活支援事業と少子化対策・定住促進



答

令和7年度に各施設の

現況を確認の上、整備

にかかる事業費や活用

間。

③

空調設備設置の計画期

間。

子ども居場所の創出に

繋げる。

自主的に企画・運営を

行い、多世代交流・子

どもの居場所の創出に

繋げる。

環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

気軽に施設を利用でき

る環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

気軽に施設を利用でき

る環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

気軽に施設を利用でき

る環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

気軽に施設を利用でき

る環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

気軽に施設を利用でき

る環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

気軽に施設を利用でき

る環境をつくり、将来

的には小中高生世代が

②

中高生にも気軽に利用

しやすい児童館として、

今後の工夫は。

確認できた。

事業を展開することで

にぎわい事業者にも参

画意欲をもたらししてい

ることなど、市場性が

確認できた。

事業を展開することで

にぎわい事業者にも参

画意欲をもたらししてい

ることなど、市場性が

確認できた。

事業を展開することで

にぎわい事業者にも参

①

サウンディング調査の成果は。

「馬のまち」である栗

東市が「馬を活用した

公園」を作るという特

徴的な部分について、

総じて印象が良く、馬

事業を展開することで

答

結婚新生活支援事業に

ついては、若い世代の

流入を中心とした支援

から、定住を重視した

支援へと改正をする。

移住・交流にかかる情

報発信やPR活動の実

施を目的として設置さ

れている県移住・交流

促進協議会に入会し、

移住者・交流人口の増

加にむけた情報発信や

「しが・めぐりあいサ

ポートセンター(しが

結)」による婚活イベ

ントも組み合わせる。



▲小学校体育館(市内)

財源の調査を行い、ス

ケジュール及び整備方

針について示す。

○は代表者 ●は質問者

○三木敏嗣 里内英幸 ●寺田靖広 梶原美保 上田忠博 西田 聡 中野光一 奥村 明

新 政 会

質問事項

- ①人々が多様な交流や日常的な憩いを楽しめる公園 ②小中学校体育館等への空調設備設置
③国スポ・障スポの機運を高める ④子どもたちの学力向上に向けて



答

認知度の向上と、多くの方が大会に関わりを

③

国スポ・障スポの開催年だが、市民皆様の機

答

令和7年度に各施設の現況を確認の上、整備

②

小中学校体育館等への空調設備設置のスケジュールは。



▲第4回栗東健康運動公園整備懇談会資料

答

引き続き、栗東健康運動公園整備懇談会を開

①

栗東健康運動公園（ホースパーク）について、

総事業費、事業期間の見直しを市民の皆様へどのように周知していくのか。

催すとともに、ホームページや広報等、様々な機会をとらえて取り組んでいく。

答

学校現場により求められる効果の高い学力向上策を提供する。

④

学力向上セレクト・パッケージはどのように実施していくのか。

答

学校司書の配置、ICT学習支援員の派遣、

④

学力向上セレクト・パッケージはどのように実施していくのか。



持ちていただくことが重要。市内小中学生を中心に「国スポ・障スポしんぶん」を発行するなど認知度を高める取り組みを進めるとともに、炬火イベント、開会100日前イベント、地域イベントでの啓発により機運を高めていく。

○は代表者 ●は質問者

○田村隆光 ●谷口律香 上石田昌子

栗東市民ネットワーク

質問事項

- ①市民に愛される栗東健康運動公園に
②小中学校におけるプール授業の今後 ③部活動地域移行の進捗



答

老朽化に伴う維持管理コストや水質管理にかかる教員の負担については課題があると認識している。プールの在り方にかかる可能性調

②

各小中学校の大規模改修工事において、プールの改修は対象になっていない。今年度はプール設備の故障により

答

引き続き、栗東健康運動公園整備懇談会を開

②

各小中学校の大規模改修工事において、プールの改修は対象になっていない。今年度はプール設備の故障により

催すとともにホームページや広報、様々な機会をとらえて取り組む。

答

引き続き、栗東健康運動公園整備懇談会を開

引き続き、栗東健康運動公園整備懇談会を開催するとともにホームページや広報、様々な機会をとらえて取り組む。

①

栗東健康運動公園について、学区外住民への説明や子どもたちの意見収集はされていない。

市民からは不安や反対の声があがっているが、市民の賛同と理解をどのように得ていくのか。

答

指導者資格を持っていることを条件とし、研修は県主催の指導者研修を活用していく。

③

部活動地域移行の取り組みの進捗状況を伺う。

答

モデルとして、卓球と柔道の2団体が栗東中学校の施設において活動を開始する。

問

指導者の資質として競技経験や専門知識があるだけでなく、教育的視点を持っていることが必要であると考えている。

指導者の養成講座や資格の有無について考えを伺う。

答

指導者の資質として競技経験や専門知識があるだけでなく、教育的視点を持っていることが必要であると考えている。

問

指導者の養成講座や資格の有無について考えを伺う。

③

部活動地域移行の取り組みの進捗状況を伺う。



個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

～3月定例会での個人質問と答弁の要旨をお伝えします～

ページ	質問者	定例会での質問事項
11	上石田 昌子	企業誘致等に係る自治体の責任について ～コストコからニプロへの変遷～
12	塩 見 隆	1 選挙における投票支援について 2 熱中症対策における小中学校への冷水機設置について 3 小学4年生の森林体験学習「やまのこ」事業について
12	寺 田 靖 広	指定管理者制度と条例改正について
12	奥 村 明	消防団について
13	梶 原 美 保	活気と魅力が実感できるまちにむけて ① 安心して住み続けられる地域公共交通の充実 ② 周遊型観光はまちの起爆剤となるか
13	三 木 敏 嗣	「荒張グリーンランド」について
13	田 村 隆 光	1 職員の人材不足へ対策の強化を 2 学童保育所で起きた重要事案の早期解決を
14	伊 吹 裕	1 地域医療の充実と相談体制の確立について 2 国民健康保険の県内税率等を統一することについて 3 北中小路地先の企業誘致、工場建設断念を問う
14	西 田 聡	重層の支援推進事業 ～福祉的相談支援体制の充実～
14	上 田 忠 博	都市計画まちづくり ～第四次都市計画マスタープラン中間検証、見直しについて～

個人質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて市に考えを聞きます。

議会動画 配信中！

各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込んで、その議員の個人質問の全体映像をYouTubeでご覧いただけます。



栗東市議会
YouTube

分野別アイコン

各記事に記載

気になる分野をチェック！

くらし	
子育て・教育	
健康・福祉	
安全・安心	
まちづくり	
その他	

問 … 議員の質問 答 … 市からの回答 意 … 議員の意見



企業誘致等に係る自治体の責任

上石田 昌子 議員



答 市は疑念を持たれるような手続きはしていないと認識している。	問 令和元年6月のコストコ断念から翌月にはニプロから用地取得に伴う協力依頼文が提出された。異例とも言っべき差し代わりかと思うが、行政の意思決定はどのようなプロセスを経たのか、また仲介業者等が入っていたのかを問う。	答 令和元年7月にニプロから立地相談を受けていたが、用地取得のプロセス、仲介業者の有無は把握していない。	問 買収時の依頼文差出人を黒塗りで情報公開した理由と、撤退について議会へ説明した際、資料を非公開とした理由を問う。	答 企業情報を公開することによる株式などへの影響を考慮した。	問 「東部地区新産業拠点の整備に関する条例」の工業用水道整備の市負担は「全部又は一部」だが、ニプロの使用する工業用水設備が全部負担となったプロセスを問う。	答 欠かせない設備であり、条例に基づき全部負担とした。	問 ニプロは撤退についての地元説明会後、住民からの質問に対する回答で「投機目的や転売を行う意図はない」と書面を送っておられることから、市民目線での疑念が出ていると推察されるが、市はなぜ疑念払拭の努力をしないのか。	答 市は疑念を持たれるような手続きはしていないと認識している。
---	--	--	---	--	---	---	--	---





選挙における投票支援



塩見 隆 議員



問 投票の際に支援が必要な方が希望する支援内容を示せる「投票支援カード」などを、今夏の参議院選挙から導入をお願いしたいが見解は。

答 投票支援が必要な方が一定数いることから、投票に対する不安を少しでも解消するため早急にこれらの導入を検討する。



▲投票用紙記入補助具 ▲投票支援カード

▲コミュニケーションカード

小中学校における熱中症対策

問 熱中症対策について、水分補給のための環境整備の取り組みは。

答 熱中症リスクが高まる6月から10月までの期間にウォーターサーバーを配備し、必要数分のウォーターボトルが各校に配達される仕組みとなっている。

小学4年生の森林体験学習「やまのこ」事業

問 来年度より1泊2日から日帰りプログラムに変更されるが、活動時間が短くなり十分な学びが得られなくなるのでは。どのように補うのか。

答 次代を担う子どもたちが森林への理解と関心を深め、人と豊にかかわる力を育むための学習効果が高まるよう、関係機関と共に持続可能な事業展開に向けた運営体制の効率化とプログラムの改善を進めていく。



指定管理者制度と条例



寺田 靖広 議員



指定管理者制度とは、民間事業者などに公の施設の管理を任せること。その場合、その公の施設の設置条例で規定することになる。

問 指定管理施設を増やす考えはあるか。

答 民間活力の活用や公民連携の推進に向け、対象となる公共施設への導入是非を協議するスキームを考えていく。

問 条例の改正について、定期的に検討されているか。

答 施設所管課で適切な時期に検討され、判断されている。

問 どのような時期に見直しを実施しているのか。

答 国による制度改正のタイミングや指定管理施設の運営による課題が生じたとき、あるいは指定管理の選定期間を迎える前など、適宜、見直しを行っている。

問 指定管理者と協議し、運営のための仕様書変更や条例改正を検討できるか。

答 選定替えのタイミングに合わせて、指定管理者の意見を聴き、案件整理を標準的に行えるよう、指定管理の運用指針の見直しに向けて取り組んでいる。

意 指定管理者がより制約が少なく管理・運営ができれば、市民サービスの向上につながる。来場者が増えることで増収につながり、公募をしても応募者が増え、指定管理料の縮減といった好循環が生まれる。



消防団員と施設・装備の充実へむけて



奥村 明 議員



問 本市の団員数の推移や現状、団員数充実への今後の取り組みは。

答 条例に基づく団員定数は114名。近年の団員数は、令和4年度94名、令和5年度93名、令和6年度89名で減少傾向にある。今後の団員数充実に向けた取り組みとしては、市内の様々な催し等の機会を捉えて市民へ呼びかける。

問 大規模災害団員についての考えは。

答 本市地形の特性から、各地区の分団とは別に、機能別分団として「山林分団」が活動しており、消防団や消防署員OBでの組織「消防防災会」が大規模災害団員制度と同様の目的を持ち、心強い本市消防団の応援団である。

問 「消防団応援の店」の店舗数と認知度向上へむけた取り組みは。

答 滋賀県下666店舗、市内では26店舗が登録。この制度は消防団員になるメリットであることから、利用店舗が増えるよう、県や消防協会と共に店舗や事業者に対する周知を行っていく。

問 市長の消防団に対する想いは。

答 消防団の皆様方には日頃の活動・使命感の中で、本市の安心・安全を守っていただき、感謝を申し上げたい。



▲栗東市消防団の動画（市HPより）



地域公共交通の維持・活性化と周遊型観光の促進

梶原 美保 議員



問 本定例会新年度予算審査におけるバス路線対策事業コミュニティバス運行対策費補助金の内訳は。

答 コミュニティバス・タクシーの運行対策費として、5063万3千円、民営バス路線の運行対策費として、運行に必要な人件費と燃料費から運送収入を差し引いた2285万円である。

問 次年度以降も同様に赤字補填が行われるのか。大きな負担だが。

答 新たな運行を実施するまでには、少なくとも2、3年かかることが想定される。少しでも負担を縮小するため、国の補助制度の調査や経費削減に取り組み、できるだけ早く現状からの脱却を目指す。

問 めぐりちゃんバスは、車内でのイベントや、画像・音楽コンテンツとの連動などを楽しんでもらうことによって乗車を増やす工夫ができ、めぐりちゃんバスは、市内園児の絵画展示などで、利用促進の工夫もできるのではないのか。

答 例えば運行経路沿線の観光資源の魅力的な情報を伝える音声ガイドを流すなど、周遊型・滞在型観光による再訪者や利用者を増やす工夫を栗東市観光協会と連携して検討する。

めぐりちゃんバスを利用してもらう工夫も、きつかけづくりを考えていく。



▲めぐりちゃんバス 葉山循環線



荒張グリーンランド

三木 敏嗣 議員



問 跡地利用に関する取り組みは。

答 平成3年より、当時開発許可の権限を有していた県や地元とまちが現状調査を実施すると共に、庁内においても「荒張グリーンランド跡地開発利用検討会」を計23回開催し取り組んだが、種々の課題があり解決策には至らなかった。

問 活用についての課題は。

答 都市計画法の市街化調整区域における規制のほか、道路や上下水道等のインフラ整備に多額の費用がかかること。当時300人以上の地権者がおられ、相続を経て世代交代が進み所有者の調査や土地利用への同意取得が課題である。

問 相続登記の義務化の効果は。

答 昨年4月より不動産登記法が改正され、所有権の取得を知った日から3年以内に相続登記が義務化されたが、当該地の存在を知らない相続人も想定される効果が現れるまでには時間を要する。

問 人口付近には、既存住宅があり部分開発はできないのか。

答 農家住宅や分家住宅などの基準で、個々に土地利用することは可能だが、当時検討していた既存宅地等の制度も廃止されており、現状で分譲地開発を認める手法がない。



▲荒張グリーンランド



職員の人材不足へ対策の強化を

田村 隆光 議員



問 近年、市の中堅職員の中途退職や新規採用など人事に苦慮されているように伺える。この5年間ににおける中途退職者の人数は。

答 20代28人、30代18人、40代13人、50代20人の計79人。すべて正規職員である。また、入庁3年以内の離職率6.7%は高いと認識している。

問 昨年6月に守山市が、介護や育児等の事情によりやむをえず自己都合退職した職員を即戦力として再活躍してもらうことを狙いとして、元職員の再採用制度（キャリアリターン制度）を導入されたが見解を伺う。

答 再採用制度については採用にあたって既に過去の勤務実績により能力が把握できていることや、採用する職員が職階ごとに必要な能力を身に付けていれば育成期間が短縮できることが特徴と考える。

問 公務員の職場の雰囲気や業務を知るだけでなく、志望動機を深めることにつながるインターンシップ制度があるが、その実習後、入庁した者はいるのか。

答 インターンシップ制度で受け入れを始めて以降、4名が職員として入庁した。



【その他の質問】

学童保育所で起きた重要事案の早期解決を



地域医療の充実と相談体制の確立を



伊吹 裕 議員



問 今回、滋賀県が主体となつて実施する「#7119」事業の概要は。

答 滋賀県が主体となつて令和7年10月から開始される予定。

#7119をダイヤルすることで、医療従事者等の専門家が、24時間365日体制で、市民から救急車の出動が必要かどうかの相談に応じる。

相談体制が整うことで、市民の不安解消と救命率の向上、救急車や救急隊員の適正化などにも効果のあるものと考えている。

国民健康保険の県内税率等の統一

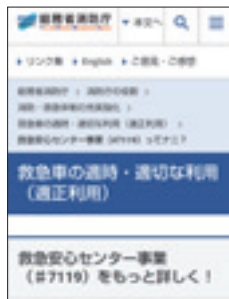
問 滋賀県が令和9年度に県内国保税率を統一する。本市の国保加入者にはどのようなメリットがあるのか。

答 メリットについては県内のどこに住んでも同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料になること等が挙げられる。

北中小路地先の企業誘致

問 北中小路地先の工場立地断念について、今回の事態について、責任の所在はどこにあるのか。

答 それぞれの役割により進めてきたことから、誰かの責任になるものではないと考えている。



▲#7119について
(総務省消防庁)



重層的支援推進事業 ～福祉的相談支援体制の充実～



西田 聡 議員



問 さまざまな福祉課題がある中で、「ひきこもり」を切り口とした経緯は。

答 8050問題をはじめ複合的な課題が予測されること、孤立を防ぎ、社会とのつながりを回復するための事業展開を考えた。

問 今年度よりスタートした集い場『虹』の現状は。

答 令和6年4月から毎週金曜日に開設し、個別相談や自分のペースで過ごせる居場所として、令和7年1月末現在、延べ256人、実人数で21人が利用している。

問 「子ども・若者よろず相談」の現状と課題は。

答 令和6年6月から市役所で月1回、2時間開設しているが利用実績は延べ11回であるため、運営方法の見直しや事業の周知に努めていく。

問 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の配置数とその役割、活用面での課題は。

答 中学校区ごとに1名、計3名配置している。相談支援や関係機関への同行支援が主な役割で、個々のケースに密に対応するための体制強化や関係機関との連携強化が課題である。

意 生活課題を抱える市民に寄り添い「誰もが安心して暮らせるまち」につなげていくことを願う。



▲重層的支援推進事業
集い場「虹」
(市HPより)



都市計画まちづくり ～第四次都市計画マスタープラン中間検証、見直し～



上田 忠博 議員



問 第四次都市計画マスタープランの中間検証、見直しの経緯は。

答 令和2年に策定し、10年間のまちづくりの方向性を示す計画であり、第六次総合計画後期基本計画等、上位計画の見直しもあり、5年目として進捗状況を確認・共有し、施策等の見直し・改善を行う。

問 生活、住環境や自然環境の維持と、商業・工業等の発展の両立は。

答 近年整備が進む幹線道路のネットワークを活かした企業の進出や用地拡充のニーズ、また、若者世代層の転入が多く住宅ニーズや商業系施設の需要が見込まれるため、無秩序な開発行為を抑制し、農地等の保全を前提にしつつ計画的な土地利用を図る必要がある。

問 本市は国道1号・8号バイパス、山手幹線等の広域幹線道路・都市計画道路等、多くの道路インフラ整備が進捗・完了予定である。街並み形成を誘導型で行い、将来ビジョンの構築が求められるが見解は。

答 道路整備や交流拠点機能の強化等、利便性の高い公共交通ネットワークの整備を通じて広域・近隣地域交流が進み、高齢化や災害等にも対応できる安心なまちを目指す。良質な住環境・宅地等が維持・創出され効果的な土地利用が図れるよう、適正な制限のもと対応を検討する。



231人
が回答！



議会だよりアンケート

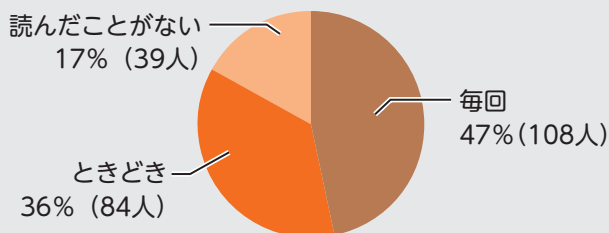
たくさんの声をいただきました！

ご協力いただきありがとうございました



市公式LINE
からの回答が
98%

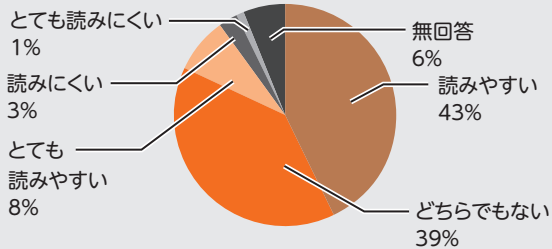
りっとう議会だより「大きな栗の木の下で」
(年4回発行)を読んでいますか？



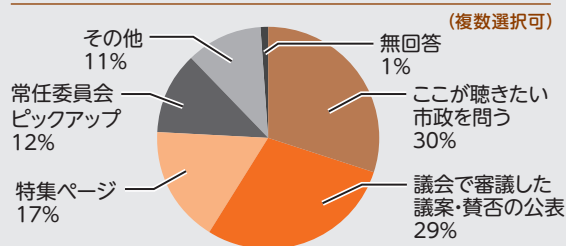
読んだことがある192人の方にお尋ねしました

議会だよりは読みやすいですか？

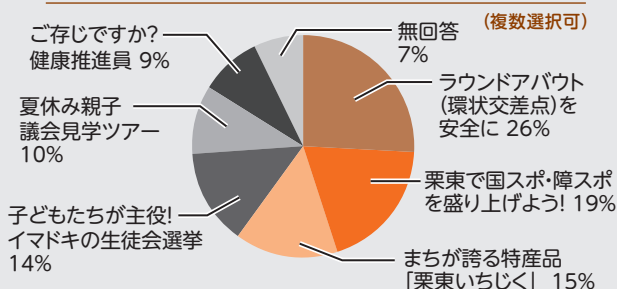
(レイアウト・ページ数・記事タイトル等)



よく読む記事は？



気に入った最近の特集記事は？



「議会だよりを読んだことがない」
その理由とは？

アンケート結果の詳細はこちら▶



いただいた声をさっそく反映しました！

●「質問等の背景が読み取りにくい」

⇒委員会報告の背景説明文を増補し、着色して読みやすくしました！

P6～8

●「議員さんたちの各質問内容もどんな世代に注目してほしいのか等、わかりやすく表示があると情報も行き届きやすいのかなと思います」

⇒個人質問の記事に分野別アイコンを追加しました！

P11～14

●「議会が市民生活に役だっていること、成果を知らせてください」(他に同様意見が複数)

⇒「その後、どうなった？」で、議会活動が反映された事業の一部をご紹介します！

P16

あわせて170件程の
自由記述欄の回答をいただきました！
一部を抜粋してご紹介します。

- 議会が正しく運営されているのか。議会の議論によって成果が出ているのか。
- 議会で審議した内容について、議題にあがったテーマを知るうえでは良い。しかし前提を理解できない者にとっては、何を問題提起しているのかわかりにくいことがある。
- 市の抱える問題点、改善方向を知りたい。
- ラウンドアバウトのような、市民生活に関係する新しいトピックを知りたい。
- 議員の目で栗東の魅力を発信するページがあっても良いのでは？
- 党や派閥が違ったら口はきかないのか、とかそういうこぼれ話的な読み物がほしい。
- この冊子が届かないと住んでる街のことを気にとめなくなってしまう。頑張ってください。

アンケートを受けて議会広報編集特別委員会で話し合いを重ね、議会と市民をつなぐ広報誌としてより多くの方々に親しんでいただけるよう、今後も取り組みを進めていきます。



市民皆さんの声や思いを受け、議員は定例会での代表・個人質問や市への要望活動などにより、政策の実現に向けて取り組んでいます。



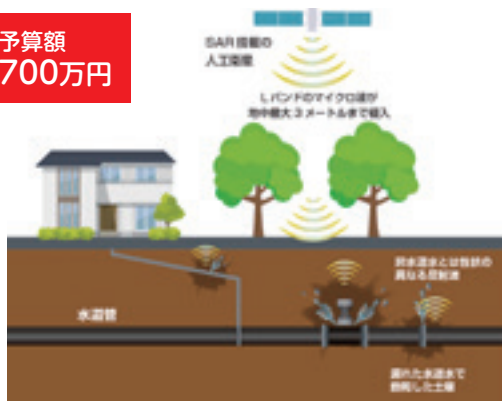
令和7年度事業の中で、議会での代表・個人質問を受け、その後進展して展開されるものや実現するものの一部をピックアップして紹介します。

議会では、今後も皆さんの声を市に届けるとともに、事業の進捗状況や効果などを厳しい目でチェックしていきます。

※事業の詳細は、二次元コードからご覧いただけます。

衛星画像解析による漏水対策

予算額
700万円



引用：東亜グラウト工業株式会社

- ・水道施設の安全性の確保を！
- ・持続可能な水道事業運営に向けた取り組みを！

県内初の衛星画像解析による漏水調査を実施

有収率の向上を目指し、衛星画像解析による先進的な漏水調査が実施されます。

栗東健康運動公園 (ホースパーク)の整備



予算額
1億6,077万円



- ・楽しく憩える市民の公園となるよう検討を！
- ・周辺環境などへの配慮を！
- ・財政負担軽減のため、慎重な対応を！

栗東ならではの公園を、対話を進め整備

令和7年度は、市民、民間事業者との対話を進めながら、造成詳細設計と用地買収が実施されます。

ファミリー・サポート・センターの開設

予算額
205万円



- ・より栗東で子育てしやすい環境を！
- ・近隣市のように、ファミリー・サポート・センター事業の実現を！

4月から事業スタート！

子育ての応援をお願いしたい人と子育ての応援を行いたい人が会員登録をし、児童の預かりなどの支援が受けられるよう連絡・調整を行う事業です。

編集後記

桜の季節も過ぎ、今年もまた暑い夏が始まろうとしています。議会広報編集特別委員会委員長の大任をあずかり、早2年。今期最後のご挨拶となります。この間、栗東市にお住いの皆様に「最も身近な政治の場所」栗東市議会での議論や出来事を、より分かりやすく伝えるよう努力と工夫をしてきました。そして、この議会広報をより身近でわかりやすいものへと改善するためにアンケート調査も実施しました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

今後も、いただいた声をしっかりと受け止めて、より良くわかりやすい議会広報となるように、さらなる工夫と改善に取り組んでまいります。(伊吹)

議会広報編集特別委員会

(委員長) 伊吹 裕 (副委員長) 谷口 律香
(委員) 梶原 美保 / 寺田 靖広 / 島田 利恵 / 奥村 明

ホームページで全ページがフルカラーの議会だより（PDF版）をお楽しみいただけます。



特集もPDF版はカラーに▲

表紙写真

高校生の思いを聴きました

